

福井市公正入札調査等委員会の開催概要について

このことについて、令和7年度第3回福井市公正入札調査等委員会を開催しましたので、その概要を下記のとおりお知らせします。

記

1 日 時 令和8年2月5日（木） 10：00～11：20

2 場 所 福井市役所 本館8階 第3委員会室

3 出席委員 委員5名

4 議事次第

(1) 開会

(2) 議題

- ・入札及び契約手続きの運用状況の報告（令和7年8月～令和7年11月）
- ・抽出事案審議（5件）
- ・管工事における入札状況の報告
- ・その他

(3) 閉会

5 会議概要

(1) 入札及び契約手続きの運用状況の報告（契約課）

- ・契約件数、請負率の状況について説明。

(2) 上下水道局の入札及び契約手続きの運用状況の報告（経営管理課）

- ・契約件数、請負率の状況について説明。

(3) 抽出事案審議

ア 審議事案1

「中央卸売市場水産物配送センター冷凍機更新工事」（条件付一般競争入札）

Q 請負金額が予定価格に比較的近い金額となっているが、取り替える冷蔵庫自体の金額が割合として大きく、納入する金額が決まっているため、金額に差が出なかったのか。

A 工事費の内訳は、工事種類としては空調設備、電気設備、撤去工事があり、空調設備は約3,230万円、電気設備は300万円ほど、撤去工事が、300万円ほどであり、設備の割合が高かった。

イ 審議事案2

「市単No3E-1 道路改良工事」（指名競争入札）

Q 比較的請負率が高いと思うが。

A すでに受注済みの手持ち工事を持っている業者がいると想定され、結果、辞退につながったと考えられる。もう1点は、工種がL型擁壁を布設するため、材料費がかさむことから、マイナスに働いたと推測している。

ウ 審議事案3

「市単No3I-3 地盤調査業務委託」(条件付一般競争入札)

Q 地盤調査はあまり金額に差が出ないのか。

A 入札資格条件該当業者数が11者で、入札参加者数が4者であった。そのうち、最低制限価格を下回ったものが1者となっている。入札は適正であったと考えている。

ただ、特殊な土地であるため、積極的に応札しなかったのではないかと推測している。

エ 審議事案4

「R7 公 201 号 1 号汚水幹線改築工事」(総合評価落札方式)

Q 業者の技術力や配置予定技術者の技術的能力で一番上回ったのは業者ではなく、業者の技術力のうち、過去の工事成績は三番手である業者が落札しているが、類似工事の施工実績が重視されたものか。

A 成績は、第3位であるが、上位2社は大変高い過去の工事成績であるものの、今回受注した業者についても、1点以上の工事成績があるということで、福井市の中では平均点以上の施工実績は確保している。

オ 審議事案5

「R7 公 212 号清水第1マンホールポンプ場1,2号汚水ポンプ更新工事」(指名競争入札)

Q J Vが施工する工事と、総合評価方式で施工する工事は、同一の基準なのか、それとも別々の基準があるのか。

A J V発注の基準は、福井市建設工事共同企業体運用要綱に基づき、土木一式の対象工事を設計金額3億円以上としている。

総合評価方式(特別簡易型)の基準は、総合評価方式運用マニュアルに基づき、土木一式の設計金額を1億円以上としている。

(4) 管工事における入札状況の報告

管工事の入札について、今後も引き続き調査する。